

市民参加の裾野拡大検討資料

令和4年7月20日

前回(令和3年度第4回フォーラム)の振り返り

- 市立高校へのリストの配布について
⇒ おおむね了承、早急に進めていく

- 高校連携授業案について
⇒ 高校の実情も把握しながら、可能であれば令和4年度中にモデル事業を実施することでおおむね了承
 - ・ 1コマで完結するライト版の授業案も必要
 - ・ 市民参加推進フォーラムの関わり方について審議継続
 - ・ 裾野拡大の取組をどこまで進めるのかも審議継続

主な意見

- ・ 高校の授業案など、教員の負担にならないように進めていくことができるように、令和4年度以降はより具体的に高校の教員のニーズ等を聞きながら進めていく必要がある。
- ・ 成人年齢が18歳に引き下げられ、現場の先生方も主権者教育の進め方等も含めて、ちょうど危機感が高まっているのではないか。
- ・ 最近では、SDGsのテーマが扱われることが多いが、より地域の中での課題を扱ってもらうように高校側に働きかけることができるのではないか。

高校を取りまく状況

(出展:文部科学省HPから抜粋)

◆新しい学習指導要領 (高等学校:令和4年度から)

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、生徒にとって政治や社会が一層身近なものとなっており、高等学校においては、社会で求められる資質・能力を全ての生徒に育み、生涯にわたって探究を深める未来の創り手として送り出していくことがこれまで以上に求められる。

◆新教科「公共」(令和4年度～)

自立した主体として、他者と協働しつつ国家・社会の形成に参画し、持続可能な社会づくりに向けて必要な力を育む共通必修科目としての「公共」を設置する。

主体となる個人を支える家族・家庭や地域等にあるコミュニティを基盤に、自立した主体として社会に参画し、他者と協働することの意義について考えさせる。

◆新しい時代の高等学校教育の実現に向けた制度改正

各高等学校に期待される社会的役割(スクールミッション)等の再定義

高等学校と関係機関等との連携協力体制の整備

⇒地域社会に関する学科については地域の行政機関等との連携協力体制を整備する

◆社会的自立と社会参画の力を育む教育

政治的教養を育む教育

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究

令和4年度 市民参加の裾野拡大の審議に係る目標

(令和4年度を通して)

- ・市立高校へリストを配布し、高校の先生方からのご意見を収集
- ・高校の実態把握及び高校連携授業の令和5年度実施案の確定（可能であればモデル実施）

(各回の予定)

第2回：高校との連携状況の進捗報告

第3回：高校連携授業案の審議

第4回：高校と連携した取組等の振り返り

高校連携授業の令和5年度実施案の確定（4年度中にモデル実施済みの場合はその結果報告も含む）

(参考資料)

○市立高校への配布用リスト

○高校連携授業案

京都市コンテンツ 使いやすいシーン

◎：とてもおすすめ ○：おすすめ △：可能性あり	総合的な学習	教科の授業		主権者・社会教育		課外活動		
		社会系 (公共等)	その他 (保健、家庭等)	主権者教育	社会教育・ SDGs教育	ボランティア 活動	地域活動	サークル 自主研究活動
京都市政出前トーク	◎	◎	◎	◎	◎			◎
まちづくり・お宝バンク	○				◎	◎	◎	◎
自治会・町内会 NPO おうえんポータルサイト	△				○	◎	◎	○
「しまつのこころ楽考 (がっこう)」	○		◎		◎	△		○
京都市情報館	○	◎		◎	○			△
市民しんぶん	○	○		○	○	△	△	
京都市会ホームページ	○	○		◎	△			
審議会の傍聴	○	◎		◎	○			△
パブリック・コメント	△	◎		◎	○			
市長への手紙		△		△	△			
「京(みやこ)まなび ネット」	△				○	◎	○	○
その他の市政参加情報	△	△			○	◎	○	○

※この他にも色々な場面で色々な制度の活用可能性があります。高校生の社会参加、SDGs学習、まちづくり等の機会創出については、市民協働推進担当までお気軽にご相談下さい。

* 市政を知る・学ぶ（座学・調べ学習向き） *

<p>京都市政出前トーク</p>	<p>市民の皆様には市政やまちづくりに関する理解を深めて、市民参加の“きっかけ”としていただくことを目的に、あらかじめ設定した多様なメニューの中から、ご希望のテーマについて、担当職員がお伺いし御説明します。</p> <p>https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035248.html</p>
<p>京都市情報館</p>	<p>市民の方に市政に関する様々な情報をお伝えする京都市の公式ホームページ。主に市政トピックス、緊急災害情報、市バス、地下鉄、観光情報、区役所のページ、いつでもコール、イベントカレンダー、ソーシャルメディア、広報資料、市民しんぶん、きょうと動画情報館を発信しています。</p> <p>https://www.city.kyoto.lg.jp/index.html</p>
<p>市民しんぶん</p>	<p>市政の基本方針や施策、生活情報などを周知するため、全市版を毎月1日に、各行政区版を毎月15日に発行しています。</p> <p>https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/category/2-1-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html</p>
<p>ようこそ！京都市会ホームページへ</p>	<p>京都市会の公式サイトです。「見える市会」「伝わる市会」をコンセプトとして、京都市会の情報を市民の皆様へ発信しています。</p> <p>https://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/</p>
<p>審議会の傍聴</p>	<p>市政運営のあらゆる過程で重要な役割を果たす審議会等で、その審議内容を公開しており、今、京都市が何を議論しているか市民の皆さんに傍聴いただくことができます。</p> <p>https://tsukuru-kyoto.net/join/council/</p>

* 市政を知る・学ぶ（参加学習向き） *

京都市政出前トーク	<p>市民の皆様には市政やまちづくりに関する理解を深めて、市民参加の“きっかけ”としていただくことを目的に、あらかじめ設定した多様なメニューの中から、ご希望のテーマについて、担当職員がお伺いし御説明します。（質疑応答や意見交換も応相談）</p> <p>https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035248.html</p>
まちづくり・お宝バンク	<p>京都のまちの様々な課題の解決を「ひとつごと」とせず、「自分ごと」、「みんなごと」と捉えて協働するまちづくりを推進するため、広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集し、登録・公開しています。</p> <p>https://tsukuru-kyoto.net/bank_index/</p>
京都市 自治会・町内会 NPOおうえんポータルサイト	<p>市内の自治会・町内会や、市が所管するNPO法人（特定非営利活動法人）の情報を検索できるポータルサイト</p> <p>https://www5.city.kyoto.jp/chiiki-npo/</p>
地域学習会 「しまつのこころ楽考（がっこう）」	<p>「ごみ減量について楽しく考えよう」をコンセプトに、参加者が学習テーマから学びたい内容を選択・組み合わせることができる地域学習会を実施します。</p> <p>http://kyoto-kogomi.net/gakkou/</p>

* 京都市に想いや意見を伝える *

パブリック・コメント	計画や条例などを決定する前に、目的や内容などをあらかじめ公表して、広く市民の皆さんの意見を募集し、その意見を考慮した上で最終的な意思決定を行う制度です。 https://tsukuru-kyoto.net/join/comment_list/
市長への手紙	市民等の皆様の市政への参加を図り、開かれた市政をより一層推進するとともに、行政施策の充実に資することを目的に、市民の皆様から広く市政に対する建設的なご意見、ご提案などをお聴きする制度です。 https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000189443.html

* ワークショップやボランティア情報 *

京都市生涯学習情報検索システム「京（みやこ）まなびネット」	「京まなびネット」では、京都市内で開催される各種講座や体験教室、講習会、イベント、展覧会、ボランティア募集などの情報に加え、市内の生涯学習関連の施設が検索できます。 http://miyakomanabi.jp/
その他の市政参加情報	京都市では、政策や事業の形成・実施・評価などの様々な場面で、市民の皆さんの意見をお聴きするワークショップやモニター制度などを実施しています。また、ボランティア等の市政参加の情報も発信しています。 https://tsukuru-kyoto.net/join/workshop/

具体的な活用例

- ◆ 市政出前トーク × 社会科・公民科
興味のある市政テーマについて、京都市の職員を招いて話を聞くとともに、質疑応答やワークショップ形式で理解を深める。
- ◆ お宝バンク × ボランティア・地域活動
実際にまちづくり活動をしている団体や組織の取組のお話を聞いたり、興味のある活動に参加してみる。
- ◆ しまつのこころ楽考 × 家庭科・SDGs教育
食ロスゼロマスターゲームを使って楽しく食品ロスやSDGsについて学ぶ
- ◆ 市会ホームページ × 主権者教育
興味のある政策分野について、議会の議事録や会議のYoutubeの動画等を教材に、自分なりの政治参加を考えるきっかけにする。
- ◆ パブリックコメント × 社会科（公共）教育
実際の市職員や具体的な市政課題について、対話型パブリックコメントを活用し生徒が自主的に活動するアクティブラーニングを実施。（例：高校連携授業案）



はじめて、つなげて、ひろげよう!

「みんなでつくる京都」

京都のまちをつくるのは、私たち一人ひとり。まちの中の色々な「つくる」を見てみよう!
あなたは、どんなことで京都のまちをつくる一員になりたい?



「みんなでつくる京都」ポータルサイト

京都市の市政参加やまちづくり活動に関する最新情報が集まるポータルサイトです。

🔍 みんなでつくる京都

<https://tsukuru-kyoto.net/>



💡 まちづくり活動に
興味がある・参加してみたい

「まちづくり活動」ページで、相談窓口やまちづくりに利用できる施設の情報をチェック!
「まちづくり・お宝バンク」で、色々な素敵なまちづくり活動の実践例をチェック!

💡 京都市に想いや意見を伝えたい

「市政参加情報」ページで、今参加できるパブコメや審議会等をチェック!

💡 ワークショップに参加してみたい・
ボランティアしてみたい

「市政参加情報」の「その他の市政参加情報」ページをチェック!

💡 組織として、地域の課題・社会課題の
解決に取り組みたい

京都市が企業や事業者等と連携して、社会課題や地域課題の解決に挑戦する取組
「KYOTO CITY OPEN LABO」が令和3年度からはじまります!

みんなでつくる京都

このリーフレットの感想、
リーフレットを読んで
やってみたくなったこと、
リーフレットの面白い使い方など、
「# みんなでつくる京都」の
ハッシュタグをつけて、Twitter、
Instagram、facebookなど
SNSであなたの意見や
アイデアを投稿してください!



高校連携授業案

パブコメ
インタビュー体験で
市政を考えるっ！

授業目的

- 授業を通じて地域課題に興味を持ち、市政参加の方法を知ってもらう。
- フィールドワークを通して、自分の言葉で課題について説明し、多様な意見を引き出す力を身に付けてもらう。
- 多様な意見を聴いた上で、自分自身の意見を柔軟な考えでまとめられるようになる。
- 提出した意見が、実際に市政に反映される経験をしてもらう。
- 主権者教育として、民主主義の担い手としての自覚（シチズンシップ）の涵養につなげる。

授業概要

- ・ 実施授業：「公共」もしくは「総合的な探究の時間」等
- ・ 実施時間：3コマ程度（2コマ目を自宅学習にしても可）
- ・ 授業の流れ

1 コマ目

- ・ 対話型パブリック・コメントについての説明
- ・ パブリック・コメントのテーマとなる計画等の内容の説明
(市職員より)
- ・ 各自でインタビューの内容を作成

2 コマ目

or 自宅学習

- ・ 1コマ目で作成したインタビューシートを基に1人あたり5人程度にインタビューを実施。
(親、兄弟、友人、地域の人、先生など対象は誰でもOK)

3 コマ目

- ・ 5～6名のグループになり、インタビューで集めた回答を共有し、意見交換する。
- ・ 収集した意見を取りまとめて、この取組を経て感じた自分自身の意見とともに京都市の所管課に提出する。

Day 1



京都市の考え方（15分）

平成15年に市民参加推進条例を施行

「市民参加」は
市政運営の基本原則

参政権とは？

参政権

【間接的な政治参加】

選挙などで選ばれた自分たちの代表者（議員）が政治に参加するという仕組み（間接民主制）。日本を含め、多くの国で主流となっている。

【直接的な政治参加】

国民全員が直接に政治に参加する仕組み（直接民主制）。

国民投票・国民審査・直接請求など

市民参加とは？

市民の
市政への参加

市民の
まちづくり活動

協働の精神

(市民と行政のそれぞれが果たすべき役割を自覚して
対等の立場で協力・補完し合うこと)

(市民参加推進条例より)

市民の
市政への参加

行政が主体



PDCAサイクルの全ての場面で、
市民の意見を聴く
市民と一緒に事業を進める

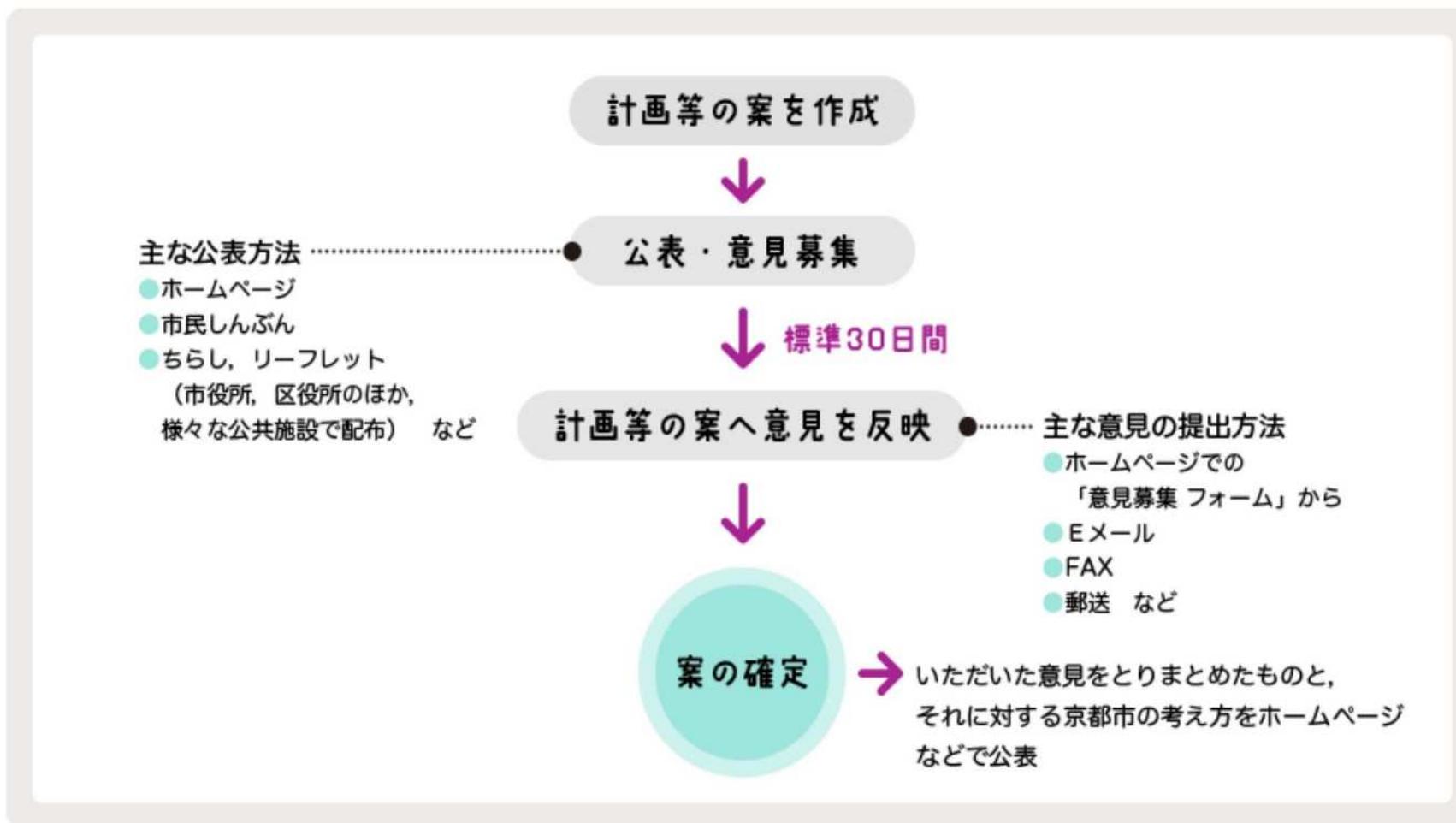
市政への参加方法

パブリック・コメント

市民の皆様に市政に参加していただくための大切な制度。

- 京都市では、計画の策定や制度の創設等を行う際に
- (1) その目的や内容等が分かる案を公表し、
 - (2) 広く市民の皆様の見解を募集し、
 - (3) 寄せられた見解を考慮して政策等を決定するとともに、
 - (4) 皆様の見解に対する本市の見解を公表します。

パブリック・コメントの流れ



パブリック・コメント

よ
い
点

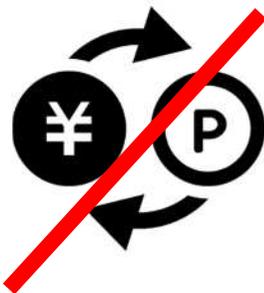


誰でも記入できる



意見に対する市の
考えを確認できる

留
意
点



抜本的な変更
をしにくい



意見が偏る可能性
(賛成の人の記入が少ない)



京都市の特徴

市民意見を聴くのに
対話・双方向性を重視している

対話型パブリック・コメント



従来のパブリック・コメントを発展させた新しい仕組み

イベントなど様々な場に赴き、直接、
その場で内容を説明して意見を書いてもらう

今回のパブリック・コメントのテーマ

「〇〇〇〇計画案について」

* 内容紹介（10分） *

京都市役所〇〇局

〇〇、〇〇

※パブリック・コメント募集期間中でない場合、高校生に適した内容がない場合等

- ・ 市民参加の推進
- ・ 出前トークのテーマ のいずれかを選択していただき、調整します。

インタビューのマナー・ポイント

- * インタビューの目的を説明し、ご協力いただくことに必ずお礼を言う。
- * 相手の意見を否定しない。
- * 相手に「共感」して意見を聞き出す。
- * 計画、政策等の内容を非難されても、否定したり、説得するのではなく、なぜそう考えるかを問う。

積極的な性格の人、控えめな性格の人・・・
それぞれ聞き出せる意見が違うので、
それぞれ価値があります！

インタビュー項目を作成しよう！（5分）

対話型パブリック・コメントの流れ

意見募集中の計画・政策等について簡単に説明

インタビュー

- ・計画や政策のどの部分に興味があるか
- ・困っていることはあるか など

説明する項目	インタビュー内容



インタビューの練習をしよう！

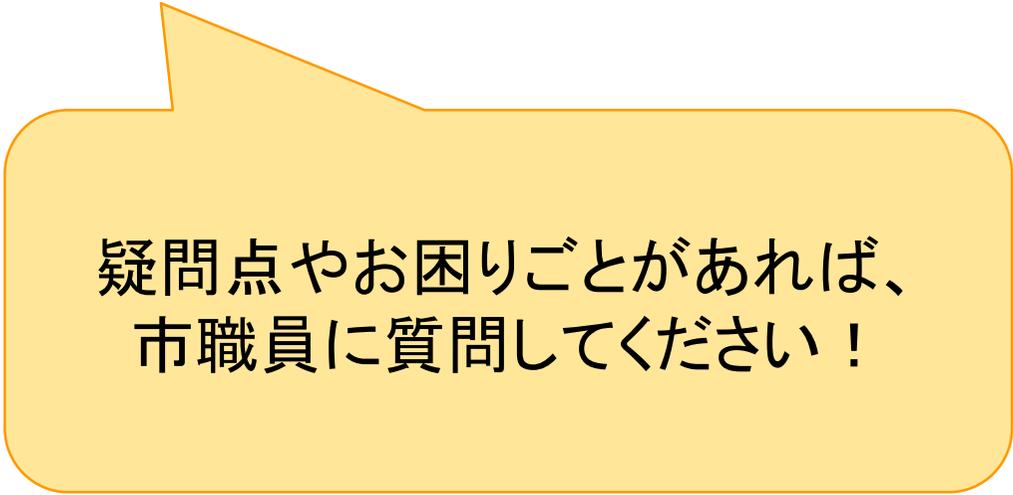
(インタビュー5分、アドバイス2分×2セット)

* 2人1組

* インタビュー 5分

終了後、アドバイス 2分

* 2人目に交代



疑問点やお困りごとがあれば、
市職員に質問してください！

Day 2

フィールドワーク (自宅学習)



インタビュー実践

* インタビューの対象 *

家族、友人、地域の人、先生など

「5名程度」

インタビューのマナー・ポイント

- * インタビューの目的を説明し、ご協力いただくことに必ずお礼を言う。
- * 相手の意見を否定しない。
- * 相手に「共感」して意見を聞き出す。
- * 計画、政策等の内容を非難されても、否定したり、説得するのではなく、なぜそう考えるかを問う。

積極的な性格の人、控えめな性格の人・・・
それぞれ聞き出せる意見が違うので、
それぞれ価値があります！

Day 3



グループワーク（30分）

- * 班のメンバーにインタビュー結果を報告しましょう。
- * 集まったご意見の中から、「共感するもの」「あまり理解できなかったもの」を選んで、その理由や気持ちをシェアしましょう。



パブリック・コメントの作成（10分）

- *パブリック・コメントとして、この取組を経て感じた自分自身の意見を記入してください。インタビューした意見に合わせなくてOKです。
- *時間が余ったら、班のメンバーにシェアしましょう。



京都市職員（所管課）より （10分）

* 生徒のみなさんから出たご意見への見解や
今後、市政にどのように活かされていくのか
お話してもらいます。

（テーマ所管課が出席できない場合は、市民協働が担当する。）